

第3次千葉県青少年総合プラン 令和2年度事業評価シート

		事業NO	1
事業名	ちばっ子「学力向上」総合プラン		
担当課・室・班名	教)学習指導課	問合せ先(電話番号)	4061

1 事業の概要

柱	I	基本目標	1	基本方策	①社会を生き抜く力の育成					
事業内容	「自ら課題を持ち 多様な人々と協働し 粘り強くやりぬく子」「子供と社会の変化を捉え 自律的に学ぶ姿勢を持ち 授業を工夫する教員」を目指す姿とし、子供たちの学ぶ意欲の向上と教員の授業改善の2つのアクションを推進していくことで、児童生徒の学力向上を図る。									
当初予算額(千円)	H30年度	175,916	R元年度	177,093	R2年度	178,090	R3年度	164,741	R4年度	
決算額(千円)		112,507		129,645		510,516				
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
		国庫		国庫		国庫				

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

○子供たちの主体的な学び促進事業では、「ちばのやる気学習ガイド」の社会・理科について、学習指導要領や県の実態を踏まえた問題に修正し、前年度の国語・数学・英語に続き、県内全中学校に配付した。
 ○千葉県学習サポーター派遣事業では、学習サポーターを小・中学校166校に192名派遣した。その後、新型コロナウイルス感染症対策として、市町村立学校に760名の学習サポーターを追加派遣した。
 ○ちばっ子の学び変革推進事業として、「学力・学習状況」検証校を15校指定し、授業公開や学力向上交流会で授業改善の成果等を周知してもらった。

(2)事業の成果

○新型コロナウイルス感染症拡大防止による休校の際には、子供たちの主体的な学び促進事業(「ちばっ子チャレンジ100」「ちばのやる気学習ガイド」「家庭学習のすすめ」サイト)の活用が積極的に図られ、児童生徒の主体的・自主的な取組が見られた。
 ○学習サポーターを必要とする小・中学校に派遣したことで、授業におけるきめ細かな学習支援や放課後等を活用した補充学習へ対応することができ、学力向上の一助となった。
 ○学力向上交流会を対面で開催することはできなかったが、各教育事務所の工夫により、授業動画の配信や実践事例の配付、検証校の授業をモデルにした協議などを実施し、充実させることができた。
 ○「授業づくりコーディネーター」活用事業により、コーディネーターを様々な場面(授業公開、指導・支援、講演・発表会等)で活用し、多くの学校が授業改善に取り組むことができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

○新学習指導要領の全面実施、第3期千葉県教育振興基本計画のスタートに伴い、新しいプラン「ちばっ子『学力向上』総合プラン(学びの未来づくり ダブル・アクション+ONE)」を作成したが、まだ全ての学校に浸透しているとは言い難い。学校訪問等を通じて、この新プランに基づき、学力向上推進に向けた事業内容の理解を図る。
 ○各事業の成果と課題を明らかにするための新しい評価の視点を設定したので、それに従い適切な評価を判定し、各事業の更なる充実を図る。

○参考

関連指標	[主体的な学びの推進] ※【別紙】参照 授業で、話し合い活動がしっかりできていると考えている児童生徒の割合 <全国学力・学習状況調査>					目標	増加を目指します
	基準年(H29)	H30	R1	R2	R3	R4	
	小学校6年生 77.0% 中学校3年生 72.0%	小学校6年生 76.6% 中学校3年生 73.8%	小学校6年生 72.7% 中学校3年生 69.9%	—	令和2年度は中止		

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 令和2年度事業評価シート

事業NO	6
------	---

事業名	消費者教育啓発事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課	問合せ先(電話番号)	2292

1 事業の概要

柱	I	基本目標	1	基本方策	①社会を生き抜く力の育成					
事業内容	消費者の自立を支援し、消費者トラブルを未然に防ぐため、各種講座等を実施する。また、消費者被害防止に向け、消費者情報の提供や広報啓発を行う。									
当初予算額(千円)	H30年度	7,575	R元年度	7,187	R2年度	7,760	R3年度	8,257	R4年度	
決算額(千円)		5,628		7,640		5,119				
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
		一部国庫		一部国庫		一部国庫				

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ○自立支援講座の実施 8回 592人参加(内若者対象 4回 500人参加) ○消費生活サポーター養成講座の開催(オンライン形式) 1回 105人参加 ○高校生等若者向け消費者教育教材「オトナ社会へのパスポート」作成 県内高等学校及び特別支援学校へテキスト72,000部 指導者向け手引書4,000部 ○若者向け消費者啓発用冊子「知っているだけでちがう! 5つのStoryから考えよう!!」作成 県内高等学校及び特別支援学校へ56,000部配布 ○教員向け研修会(ホームページでの研修資料配信) 1回 64人参加 ○消費者フォーラムの開催 中止
--

(2)事業の成果

<p>自立支援講座等の開催により、高校生等の若者をはじめ様々な世代に対し、消費者教育を提供することが出来た。また、教育機関と連携し、消費者教育教材の作成配布等を行い、学校における消費者教育を促進した。</p>
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> ・成年年齢の引下げを踏まえ、消費者被害防止のみならず自立した消費者を育成していくためには、ライフステージに応じた消費者教育を実施していくことが非常に重要である。 ・そのため、学校において、実践的な消費者教育を行えるよう、引き続き「教員向け研修会」の開催や、高校生等若者向け啓発資材(冊子)の配布を行う必要がある。オンラインでの配信も検討していく。 ・さらに、消費者問題に関する講座については、様々な主体に対し、積極的に周知を図っていく必要がある。

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 令和2年度事業評価シート

事業NO	10
------	----

事業名	道徳教育推進プロジェクト事業		
担当課・室・班名	教)学習指導課	問合せ先(電話番号)	4060

1 事業の概要

柱	I	基本目標	1	基本方策	①社会を生き抜く力の育成					
事業内容	『いのち』のつながりと輝きをテーマに、小・中・高等学校の各学校段階に応じた体系的・系統的な道徳教育を推進することにより、児童生徒の道徳性を高める。									
当初予算額(千円)	H30年度	29,502	R元年度	30,000	R2年度	5,909	R3年度	17,621	R4年度	
決算額(千円)		25,294		27,181		518				
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
		全額国費		全額国費		全額国費				

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・年間1回の道徳教育懇談会を実施した。 ・令和2年度は、幼稚園1園、小学校5校、中学校5校、高等学校5校、特別支援学校1校を「特色ある道徳教育推進校」に指定し、実践研究を実施した。また、隔年開催の「心の教育推進キャンペーン」を実施し、「心の教育啓発ポスター」の作成、道徳教育実践事例集「心豊かに」(データCD)を作成し、県内の公立学校に配付した。 ・中学校、高等学校等の道徳教育推進教師研修会を実施した。
--

(2)事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育懇談会において、発達の段階に応じた本県の道徳教育の在り方等について協議し、高等学校における道徳教育の充実に資する意見を聴取した。 ・「特色ある道徳教育推進校」における実践研究では、「考え、議論する道徳」への転換を目指した授業改善に取り組んだ。また、2年間にわたる研究の成果を「心の教育推進キャンペーン」の一環で作成した道徳教育実践事例集「心豊かに」(データCD)に収録し、好事例を県内の公立学校に周知した。 ・県内の公立学校から原画を募集し、「心の教育啓発ポスター」を作成し、校内への掲示、活用を促した。 ・中学校、高等学校等の道徳教育推進教師研修会はオンラインでの資料配付形式で実施し、道徳の教科化に関わる国や県の動向を説明したり、県で作成した映像教材等の活用を促した。
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度、新たに県の道徳教育推進校を指定し、道徳教育の研究を推進し、好事例を県内に広めていく。 ・道徳教育実施状況調査を行い、県作成の映像教材や読み物教材の活用状況を把握し、より一層の活用を促していく。 ・道徳授業の一層の充実、また、小学校における道徳科評価の改善のために、道徳教育推進教師を対象にした研修会を開催する。
--

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--